

日本共産党 岡山市政ニュース

発行者
日本共産党
岡山市議団
岡山市北区大佛1丁目1番1号
(市議会内)
〒700- 電話(086) 803-1707
8544

河田正一
田中のぞみ
林永光
東つよし

No.267(通276)

11月市議会で日本共産党は全74議案中、頑張る学校応援事業、伊島幼稚園保育園の認定こども園化、マイナンバー関連の3議案に反対しました。また否決された戦争法廃止、TPP反対、路面電車乗り入れ慎重審議の陳情3件の採択を求めました。

市長が答弁 保育料の軽減を検討

昨年4月の子ども・子育て新制度移行に伴い保育料の算定方法が変わりました。その際に、岡山市は年少扶養控除の「みなし適用」も廃止してまいりました。18才以下の子どもが3人以上いる家庭では、保育料が値上げになっています。国は3月の時点で在園児について自治体による「みなし適用」を認める通知を出しているにも関わらず、岡山市は対応していませんでした。また、党市議団は岡山市の保護者負担率が政令市で一番高い事も指摘しました。もともと高すぎる保育料に加え、多子世帯にさらに負担を強いる事は、少子化対策や子育て支援に逆行しています。市長は、保育料軽減を前向きに検討したいと答弁しました。



1月4日 新春宣伝

2016年飛躍の年に!!

ちよつと待った 路面電車の 駅前乗り入れ



今議会直前に、岡山市は、路面電車の岡山駅前平面乗り入れを提案し、それを受けて、賛成、反対、慎重審議と様々な陳情が16件出ました。少子高齢化社会の中で公共交通の充実が待ったなしの課題であり、路面電車の充実もその一つです。しかし市民意識調査では、路面電車の利用者は0・3%に過ぎず、市民にとっての最優先課題とは言

えません。周辺部の公共交通の確保、路面電車の環状化・延伸化もふくめた市全体の公共交通事業充実の議論もありません。また反対ではないと言いなから、自民党市議団は駅前商店街の反対の陳情を採択しました。党市議団は慎重審議の陳情の採択を求めました。

子どもの貧困対策を 市の重要課題に

市は、今後10年の子ども・子育て支援プラン(素案)に子ども貧困対策を項目として加えました。党市議団は、市政の重要課題として位置づけ、独立した条例、計画を作ることや、担当部署の設置を求めました。市は「関係部署で協議し、連携する場をつくっていく」と答弁しました。早めの対応と切れ目のない支援のために、母子手帳を交付する時点で家庭環境を把握する詳しいアンケートを取ることや、生活保護家庭の中学生だけの学習支援の対象を広げることも検討すると約束しました。

一歩前進です。給付制奨学金制度の創設など、貧困の世代間連鎖をたちきることが必要です。

学童クラブ補助拡大へ

共働き世帯の小學生を放課後に預かる学童クラブに対し、市は施設を増やした場合の補助金を増やす方向で検討するようになりました。受け入れ枠の拡大が期待できます。

空き家条例が成立

荒れて危険になった空き家対策を行う条例が成立し、1月1日から施行されました。相談窓口は本庁住宅課に置きます。人員増と区役所への窓口設置を求めています。

弁護士による
無料法律相談

毎月第1、第4月曜日夕方に法律相談を行っています。要予約、市議団 ☎ 803-1707まで。

河田 正一 (北区)

田中のぞみ (北区)

林 じゅん (中区)

竹永みつえ (東区)

東 つよし (南区)